

本庁・支所（分室）のあり方に関する市民説明会 質疑応答まとめ（主な意見）

日時・場所等：平成29年11月21日（火）19：00～20：10 サンパレア（寄島地区）
平成29年11月22日（水）13：30～15：20 金光総合支所（金光地区）
平成29年11月22日（水）19：00～20：30 健康福祉センター（鴨方地区）

参加者：地区コミュニティ代表者 寄島地区 17名（地区代表）
金光地区 12名（区長）
鴨方地区 41名（地区代表）

○主な意見

【寄島地区】

○説明会の目的

意見：行財政改革推進懇談会で今まで議論をされてきたので、今日、何を言っても変わらないという既定路線だと思うが、ここで多くの意見が出たら変わる可能性があるのか。

回答：昨年度に策定した市の基本方針に沿って進めていくため、基本的な方向性は変えられません。ただ、ふれあい号の部分等、地域性もあるので、その部分について、市民の皆様のご意見を聞いて帰らせていただきます。

○職員数の削減

意見：5・6人減ったくらいで、人件費の部分を頑張っているとは思えない。

回答：福祉をはじめニーズが多くなっている専門職員は増えています。障害者雇用もあります。このようなことから職員数はむやみには減らすことができません。役職者の人数を減らす、時間外の縮減等で総人件費を削減していきたいと考えています。

○ふれあい号の増便

意見：寄島は利用者が多いと言われるが、週2日で満足しているとは思えない。寄島地区は、高齢者、1人暮らしも多く、免許を返納している者もいる。ますます過疎が進んでいくので、それを食い止めるためにも、最低でも毎日1・2便は必要。ぜひとも検討してほしい。

回答：ふれあい号については、活用度をよく見極めた上で拡充を考えていきます。

○支所の有効活用

意見：状況はどこの市町村も同じようなことではしょうが、歳入を増やす方法が書かれていない。寄島支所の1階が空くなら3階の図書館を下に降ろし、3階を貸し出す。この貸出についても民間活用等、いろいろな人に意見を聞いて収入に繋げることが大事。その収入をふれあい号の増便にも使えるのではないか。

回答：支所は防災の拠点でもあり、とても重要であると考えています。活用については、財源確保も考えた上で、よく検討していきます。

○総合窓口

意見：総合窓口とは、窓口業務に特化したものをつくるということなのか。

回答：窓口の特化した組織を設置する予定です。

○市民への情報提供

意見：私の地区だけでも、かなりの世帯数がある。私とこの資料だけでは地区の方に説明することはできない。高齢者も多いのでホームページは見れない。地区代表に話して決まりましたでは困る。広報紙等の紙で市民に知らせてほしい。

回答：市民向けに何百人という大きな集会のディスカッションはできませんので、広報紙やホームページ等で市民の皆様にお知らせします。

○支所の業務

意見：支所が縮小されると、水道工事や道路に関することは、どこに言えばよいか。

回答：支所へは、産業建設、福祉の業務は残らない予定です。人を集約し、本庁で全体を見るようになります。本庁へそれぞれの地区の担当者がいますし、再編後の支所の職員へ言っていただいても、本庁へ取り次ぎを行います。

【金光地区】

○職員数の削減

意見：正規職員数のことばかり言われるが、正規職員を減らして非正規職員を増やしたのでは意味がない。また、議員もしかり、2人減らしたが、報酬を上げて、減らした以上の支出があるなどもつてのほか。4月からではなくすぐに上げたことも理解できない。

回答：市民ニーズの多様化に対し、正規職員ばかりでは対応できないような専門的なことを非正規職員で対応しています。非正規職員は時期に応じて人数等も柔軟に対応できると考えています。

議員報酬については、議会で決定したことなので、それに従って行政運営を行っていくことがルールであります。

○市民への情報提供

意見：土木委員や民生委員といった団体へは説明をするのか。

今日の資料では、何が支所で出来なくなるかが分かりにくい。話を聞けば、支所の産業建設課や健康福祉課はなくなるということが分かった。金光町民から見ると、ふれあい号の直通便が出るなど、ある程度決まっていることがあれば、資料に書いてほしい。

回答：主要な団体については、各担当部から今後説明するよう考えています。

業務につきましては、戸籍・防災・産業建設・福祉・上下水道は本庁へ集約し、本庁へ担当者がいるようになります。担当者が金光支所にいなくなることになるので、本庁へ足を運んでいただくことが多くなります。

今は金光支所で金光地区のことをしていますが、再編後は本庁で全体のことをしていくようになります。

資料につきましては、再編後の業務（案）についての表現が悪く申し訳ありません。

12月～3月のこれから4ヶ月で、本庁・支所のあり方について、計画をつくります。その計画で、いろいろなことがはっきりと決まりますので、その内容を分かりやすく広報紙やホームページで市民の皆様にお知らせします。

○ふれあい号の充実

意見：現在のふれあい号では、目的地へ行くのに時間がかかりすぎる。ルート変更を考えてほしい。

回答：バスの直通便も考えていますが、それをすると途中の人がまったく乗れない状況にもなります。空のバスを走らせるわけにはいきませんので、少しでも早く行けるような方法を考えていきます。

○総合窓口・職員の育成

意見：総合窓口を担当する職員は、範囲が広すぎる。それをワンストップで対応できる職員の育成がすぐにできるのか。

総合窓口はどこにつくるのか。本庁舎は狭い。行く道も狭く危ないし、今まで以上に職員が増えると駐車場が足りなくなるのでは。

回答：総合窓口にはいろいろな形があり、1人で沢山のことをこなす方式もありますし、市民の方は同じところに座っているが、職員が順番に変わり手続きをするような方式もあります。職員の育成は原点であり、今後も育成に努めてまいります。総合窓口の設置場所については、現在は未定です。浅口市なりの総合窓口を設置したいと考えています。

○支所の人数

意見：再編後の支所の人数は何人になるのか。

回答：何人となるかについては、これから様々なご意見をお聞きした上で、支所の業務と併せて決めていくこととなりますので、今より少なくなりますが、今日ここで何人とは言えません。

○支所の有効活用

意見：現在でも、支所は空きスペースが沢山ある。有効活用を考えてほしい。

回答：少しでも財源がとれるよう有効活用を図ってまいります。市民の皆様と、よく話し合っていきたいと考えています。

○防災体制について

意見：産業建設課がなくなると防災体制はどうなるのか。災害対応で素人の職員が支所にも駄目。防災士の資格のある職員を支所に。

回答：防災専門というのではなく、連絡調整員を置くことを考えています。今まで通り金光地区担当の消防主任はいますが、席が本庁となります。市全体で人の配置を考えていきます。

○職員の意識改革

意見：市民を犠牲にしてまでも改革を行うのなら、職員もそれなりに意識改革をすることが必要。

回答：財政が厳しい中、1,000以上からある事務事業を本当に必要なのを見極めるような行政評価を行っています。予算編成時においても、職員に事業をよく精査するよう指示をしています。今後も、しっかりと職員の意識改革を行っていきます。

○行政改革の財政的効果

意見：市民に痛みをとまなうのに、本庁・支所の改革をしたら、どの程度効果があるのかははっきり分からない。また市役所で取り組んでいることも市民には分からない。

回答：本庁へ集約することにより効率化を図っていきますが、本庁・支所の改革をしたらすぐに効果額がいくらという試算が難しいです。集約することにより、役職者を減らしたり、時間外の抑制をしていくことで、総人件費を下げる努力をしております。

行財政改革として取り組んでいる日常的なことは、行政評価やペーパーレス会議、公用車・備品のシェア等があります。

【鴨方地区】

○人件費の削減

意見：市長・副市長は給料をカットしているのに、議員報酬が上がるのは納得いかない。今日の行財政改革の話と合っていない。

先進地視察に行ったが、教育委員会部局と市長部局を統合していた。人は減らせばよいというもではないと思うが、それくらい思い切って人員配置を。

回答：議員報酬については、議員発議から行われたものです。きびしい意見が沢山あるのも承知しています。

職員数については、県内でもともと少ない職員数の町が合併し、市としても職員数は、かなり少ない方です。人口1万人あたりの職員数は約69.3人であり、政令指定都市の岡山市と中核市である倉敷市を除くと県内の市の中では一番少なくなっています。しっかりと効率化を図り、意識改革や時間外の抑制、支所長、課長、係長のような役職者が減っていくので、人数は減らさず、総人件費の抑制を行っていきたいと考えています。

市長部局・教育委員会部局の話は、他市の情報収集もしながら、浅口市にあった機構改革を検討します。

○プライバシーの配慮（総合窓口）

意見：現在の健康福祉センターでは、接客カウンターが狭く、プライバシーの配慮が欠けている。今度の新しい総合窓口では、プライバシーに配慮する等、カウンターを工夫してほしい。

回答：総合窓口を設置する際には、プライバシー等に配慮するよう検討します。

○行財政改革の財政的効果

意見：本庁・支所の改革をやることで、年間どのくらいの効果があるのか？市の業務の中に市税の徴収があると思うが、その徴収率を上げていくことが大事。

回答：この改革によりすぐに根拠がある効果額を出すことは難しいです。現在は素案であり、これから正式にいろいろなことを決定していきます。それらをすべて勘案し、削減効果を試算して、今後市民の皆様にご報告等でお知らせしたいと考えています。

市税の徴収につきましては、徴収率が上がるよう、いろいろと工夫をして頑張っています。これからも努力していきます。

○前向きな行財政改革を

意見：今日の説明では、全体的に悪いことばかりで、圧迫感がある。もっと前向きに具体的な取り組みを考えて、今住んでいる人が浅口市に残ってもらえるように。

証明手数料の値上げ、草刈機借上料の減額、市民にとっては負担感ばかり。

回答：証明書の発行手数料については、浅口市だけが安く、300円で他の自治体の水準に合わせた。これからは受益者負担の考え方が重要であり、市の施設は減免ばかりで無料とはできません。施設を利用していない市民の皆様も多くいるので、その方々との差ということで、利用者にはそれなりの金額をいただきたいと考えています。

市としては、無駄なものは削る努力はしています。しかし、ただ削るだけではなく、予算全体の規模は縮小しても、次につなげていくためにも新しいものも必要と考えています。浅口市の将来の子どもや孫の世代に繋げていくためにも、行財政改革により持続可能なまちづくりを行っていきます。

○旧3町のままの制度の改革

意見：合併して10年も経つが、以前旧3町のままの制度（名称）がある。また、そのため職員の事務も効率化ができていない。この機に思い切って業務内の質的な面も変えてほしい。

回答：合併して統一できていないこともまだまだあります。浅口市として市民の皆様の平等という観点から、しっかり検討してまいります。